

内視鏡下食道静脈瘤治療を受けられる患者様へ

様 主治医

看護師

- ・このパンフレットは食道静脈瘤の治療手順を一覧表として記載したものです
- ・あなたの病状により一部変更がある場合がありますが、基本的には記載の手順にしたがって、安全に食道静脈瘤の治療が施行できるようにします

項目	入院日 (.)	処置当日 (. . 曜日)			翌日 (.)	1週間後 (.)	2週間後 (.)
		処置前	処置中	処置後			
入浴	・普段通りにしてください	・安静を保つ意味で、当日の入浴はできません。お体をお拭きします			・シャワー浴可	・入浴可	
安静	・院内自由 ・許可外出	・床上安静とし、用便についてはポータブルトイレとします ・処置当日は安静を保つ必要があります			・トイレ歩行可 ・病棟内自由	・院内自由 ・許可外出	・退院
食事	・前日夕食まで、食事内容の制限はありません ・処置前日21時以降は食事をとらないでください	・処置当日は朝から完全に絶食です ・水やお茶も飲まないでください	・処置後2時間後より水を飲んでもかまいません ・ただし、少量よりはじめてください	・翌日は流動食です ・間食は術後出血の原因になる場合がありますので厳禁です	・翌々日より三分粥にしますその後2日おきに五分粥、全粥、米飯とすこしずつ食事を増やしてゆきます ・入院中は間食はひきつづき厳禁です		
内服	・いつもの薬は前日夕方まで服用してください ・インスリン自己注射をしているかた、糖尿病の薬や血をさらさらにするお薬(アスピリンなど)を飲まれているかたは主治医とご相談ください。一時薬を中断する場合があります	・処置当日は内服薬は原則的にすべて中止です ・必要な薬はすべて点滴、注射で使用することになります			・翌日の朝から内服薬を再開します ・制酸剤や食道胃粘膜保護剤などを使用します		
注射		・処置前から右手に点滴をします止血剤や、胃酸を抑える薬などを使用します ・処置中の痛みや不安をやわらげるために、鎮痛剤、鎮静剤を使用します ・当日の朝から、翌日の朝まで止血剤入りの点滴をつづけます			・翌日には点滴を中止します		
検査	・主治医指示によりあらかじめ血液検査、レントゲン、心電図を施行しておきます	・血圧や呼吸状態をみるモニタを装着します	・血圧や脈拍などを病棟で適宜測定します	・術後の血液検査をします	・術後の血液検査をします	・術後の血液検査をします ・治療効果判定のための胃カメラをします	
処置		・処置のまえに検査着に着替えます ・はずせる義歯ははずしておいてください	・手術を施行します ・時間はひとにより異なりますが、20分から30分ぐらいです	・まれに処置後の出血がみられることがあります。その際には、再度の処置、輸血など緊急の処置がとられます ・また、肝機能の悪化がみられることがあります。その際には追加治療を必要とする場合があります、入院がながびくことがあります			
説明	・主治医より治療の意義、危険性について説明します内容をじっくりご理解いただき、承諾書にご署名おねがいします	・都合によりキャンセルされる方は早めにご連絡ください 078-987-2222代 主治医もしくは内視鏡室まで		・疼痛、気分不良などあれば看護師にお伝えください 適宜処置をします	・退院までに服薬指導、栄養指導をお受け頂きます ・退院後の療養にお役立てください		